

# セタシジミ資源の概況調査

井戸本 純一

## ◆背景・目的

漁獲量が減少しているセタシジミ資源の現状とその動向を把握し、適正な資源管理や効果的な栽培漁業推進の基礎資料とするため、琵琶湖一円の漁場で実際の漁船漁具による採集調査を毎年実施している。

## ◆成果の内容・特徴

- 産卵期である禁漁期間中に漁業者に依頼して主要7漁場を含む17水域で貝桁網を一定時間曳網し、単位面積あたりの漁獲サイズ（選別前の未漁獲サイズを含む）のセタシジミ採集数および体型組成を調査した。
- 2006年7月28日に調査した結果、主要7漁場における1㎡あたりのセタシジミ採集数は平均0.51個体/㎡で、昨年度の平均0.45個体/㎡よりやや回復したが、一昨年度の1.87個体/㎡とくらべても著しく低い状態が続いた。
- 各漁場において殻長20mm以上の個体が占める割合の主要7漁場の平均は、個体数で10.8%、重量で19.8%となり、昨年度の14.0%および22.0%よりやや低くなったが、選別前の未漁獲サイズ（殻長15mm未満）の割合が個体数で昨年度の22.3%（0.12個/㎡）から27.1%（0.18個/㎡）に増加しており、資源回復の可能性のあることを示唆した。

## ◆成果の活用・留意点

- 回復しつつある小型の資源を有効に再生産へ結びつけるため、漁獲体型の引き上げによる資源管理の強化を早急に進める必要がある。

表1 貝桁網による主要漁場における単位面積あたりのセタシジミ採集数

水域名 (主要7漁場)	1㎡あたりの採集個体数		
	2004年5月調査	2005年6月調査	2006年7月調査
沖島南西	0.79 (0.01)	0.39 (0.03)	0.54 (0.03)
沖島西	2.60 (0.02)	0.75 (0.01)	1.24 (0.01)
沖島東	2.97 (0.21)	0.42 (0.07)	0.21 (0.04)
松原	1.30 (0.32)	0.10 (0.05)	0.21 (0.04)
磯	2.22 (0.02)	0.73 (0.04)	0.76 (0.07)
長浜	2.01 (0.08)	0.33 (0.03)	0.17 (0.02)
今西	1.18 (0.05)	0.41 (0.01)	0.45 (0.05)
平均	1.87 (0.10)	0.45 (0.03)	0.51 (0.04)

( )内は殻長20mm以上の個体数